

競技・審判上の注意

競技委員長 加藤 俊介
審判委員長 村田 孝幸

1. 競技規則等について

- (1) 本大会は2026年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則を適用する。
- (2) チームの構成は、引率教諭1名（監督が兼ねることができる）、監督1名（連盟の定めた資格取得者）、コーチ（連盟が定めた資格取得者）、マネージャー1名、選手14名以内で、監督は全国私立高等学校バレーボール連盟が定める「有資格者」であり、校長が認めたものであること。
- (3) 監督、コーチ、マネージャー章は規定のものを各チームで用意をし、左胸部につける。監督は指導者証を前胸部に提示する。チームキャプテンは規定のマークを競技用ユニフォームの胸番号の下につける。
- (4) 監督、コーチ、マネージャーの服装は統一されることが望ましい。（生徒がマネージャーの場合は、選手と同じトレーニングウェアでもよい）
- (5) 競技用ユニフォームは明らかに色の異なったものを2着用意する。シャツ、パンツ、ソックスの色とデザインは（リベロを除き）チームで統一されていなければならない。
- (6) チームはリベロ・プレーヤーを2名までエントリーすることができる。競技者の構成人数が12名を超えた場合は（13名もしくは14名）、2名のリベロをエントリーしなければならない。
- (7) ネットの高さは、女子2m24cm、男子2m43cmとする。
- (8) 大会使用球は、女子モルテン、男子ミカサとする。

2. 試合の進行について

- (1) 競技日程および試合順序はプログラムに記載したとおりに行う。
- (2) 競技方法は以下の通りとする。

<グループ A>

- 予選リーグ：男女とも8ブロックに分かれ、各ブロック4チームの完全リーグ戦をおこなう
- 決勝トーナメント：予選リーグ各ブロック1位チームによるトーナメント戦を行う。3位決定戦は行わない。
- 予選リーグ3セット目は15点制、決勝トーナメント3セット目は25点制とする。

<グループ B>

- リーグ戦：男女とも6ブロックに分かれ、各ブロック4チームの完全リーグ戦をおこなう。
- リーグ戦3セット目は15点制とする。

<グループ A・B>

- リーグ戦順位決定方法は次の順とする。

- ①勝ち数の大きいチームを上位とする。
- ②セット率（総得セット数÷総失セット数）の大きいチームを上位とする。
- ③得点率（総得点数÷総失点数）の大きいチームを上位とする。
- ④直接対戦した勝敗で決定する。
- ⑤何らかの理由により、以上の①～④の順で決定しない場合には、当該チームの抽選で上位チームを決定する。

(3) チームキャプテンによるトスはプロトコール前に記録席前で行う。

(4) グループ別リーグ戦は割り当てにしたがい、記録・線審・点示のコートオフィシャルを準備する。(審判割当参照)

3. 受付およびメンバーの変更について

(1) 試合会場受付でコンポジションシート・ラインアップシートを受け取る。

コンポジションシートは前試合の第1セット終了までに受付に提出する。ただし、試合が連続する場合は試合終了後、速やかに受付に提出する。ラインアップシートはプロトコール時に受け付ける。

(2) 各試合の選手は「大会参加申込書」に記載された20名の中から試合毎に14名以内をエントリーする。

(3) 大会申込み後の選手変更・追加およびユニフォーム番号の変更については止むを得ない場合に限る。

(4) 引率教諭、監督、コーチ、マネージャー、選手の変更については以下のように変更届を提出する。

A グループ：開会式当日（代表者会議時）に大会本部に提出する。

B グループ：大会当日、会場本部に提出する。

4. その他

(1) 試合前のボールの使用は可とするが、試合中のコートへの妨げにならないように十分留意する。

(2) ベンチには飲料水、救急具などの必要な物品以外は持ち込まない。

(3) 試合会場での上下履きを区別する。貴重品およびその他の物品の管理は十分に注意する。

(4) チームの行動に関する一切の責任は引率責任者が負う。

(5) 部旗や横断幕などの掲示は当該試合のチームを優先する。

(6) 各体育館内の電源は使用禁止とする。